

## コウノトリとは？

国の特別天然記念物に指定されているコウノトリは両翼を広げると2mにもなる大形・白色の鳥で、絶滅が危惧されている世界的にも希少な鳥です。

日本では、昭和46年に豊岡盆地で国内最後の野生コウノトリが姿を消しています。

近縁種にはヨーロッパで85万羽以上が分布していると推測されているシュバシコウがいます。

**学名** キコニア ボイキアナ (Ciconia boyciana)

**翼開張時** 2m前後

**体重** 約4~5kg

**雌雄の区別** 一般にオスはメスより大きい

**鳴き声** 成鳥は声を出さないが、クチバシをカタカタとならすクラッタリングをる

**餌生物** 動物食(ドジョウ、フナなどの魚類、カエル、ミミズ、バッタなどの生きた小動物)

**分布** ロシアと中国の極東地域（主にアムール川流域）を主な繁殖地、その数は約2,000羽と推定され、絶滅が危惧されている

極東地域で繁殖したコウノトリは、中国揚子江周辺とポーヤン湖、さらに台湾、韓国、日本に渡り越冬することもある